

受付番号	2021-33		
許可番号	大歯医倫 第 111185-0 号		
研究課題名	医科歯科連携実習後のアンケート調査		
研究責任者	貴島 真佐子	申請者	貴島 真佐子
研究終了日	2022 年 3 月 31 日		
所属	医療保健学部 口腔保健学科	所属	医療保健学部 口腔保健学科
職名	講師（非常勤）	職名	講師（非常勤）

申請の概要

超高齢社会が進む中、診療室で完結する医療よりも地域で提供する地域包括ケアシステムの体制が求められている。医療、介護、福祉、保健分野において多職種連携を進めていくことは不可欠である。機能分化・連携によって地域医療においては、急性期・回復期・慢性期・生活期の医療の変遷が整備される中、医科と歯科が緊密な連携を行い、患者さんを中心とした質の高い医療と安心と満足度の高い医療の提供が可能となる。口腔衛生管理および口腔機能管理の担っていく上で、各専門職によるチーム医療の現場の体験、経験は歯科医療従事者として、今後重要な分野であると考え。しかしながら、実際の歯科衛生教育分野においては、取り組んでいるところは少ないのが現状である。

本学医療保健学部においては3年次に医科歯科連携学を学んだ後、多職種連携によるチーム医療が実践されているリハビリテーション病院にて、医科歯科連携実習を実施している。円滑なチーム医療が行える歯科医療者を目指し、病院施設での多職種連携の中での歯科衛生士・技工士の役割と、多職種の業務内容を理解することを目的とする。医科歯科連携学を第3学年、前期で学習した基本知識をもとに、実際の病院・施設での歯科の重要性や実施すべき歯科衛生士の業務（口腔リハビリテーションの意義など）を中心に、多職種の連携（新入院評価やリハビリテーションカンファレンスなど）について考え学ぶ機会をつくる。実習後のアンケート調査により、実習の満足度だけでなく今後の実習のあり方について再検討、フィードバックを行い、将来、実習を通して、生活を支える医療を提供する医科と歯科医療従事者が連携できる社会的貢献度の高い人材育成の一助になると考える。